

埋込ストップバルブ化粧カバー施工説明書

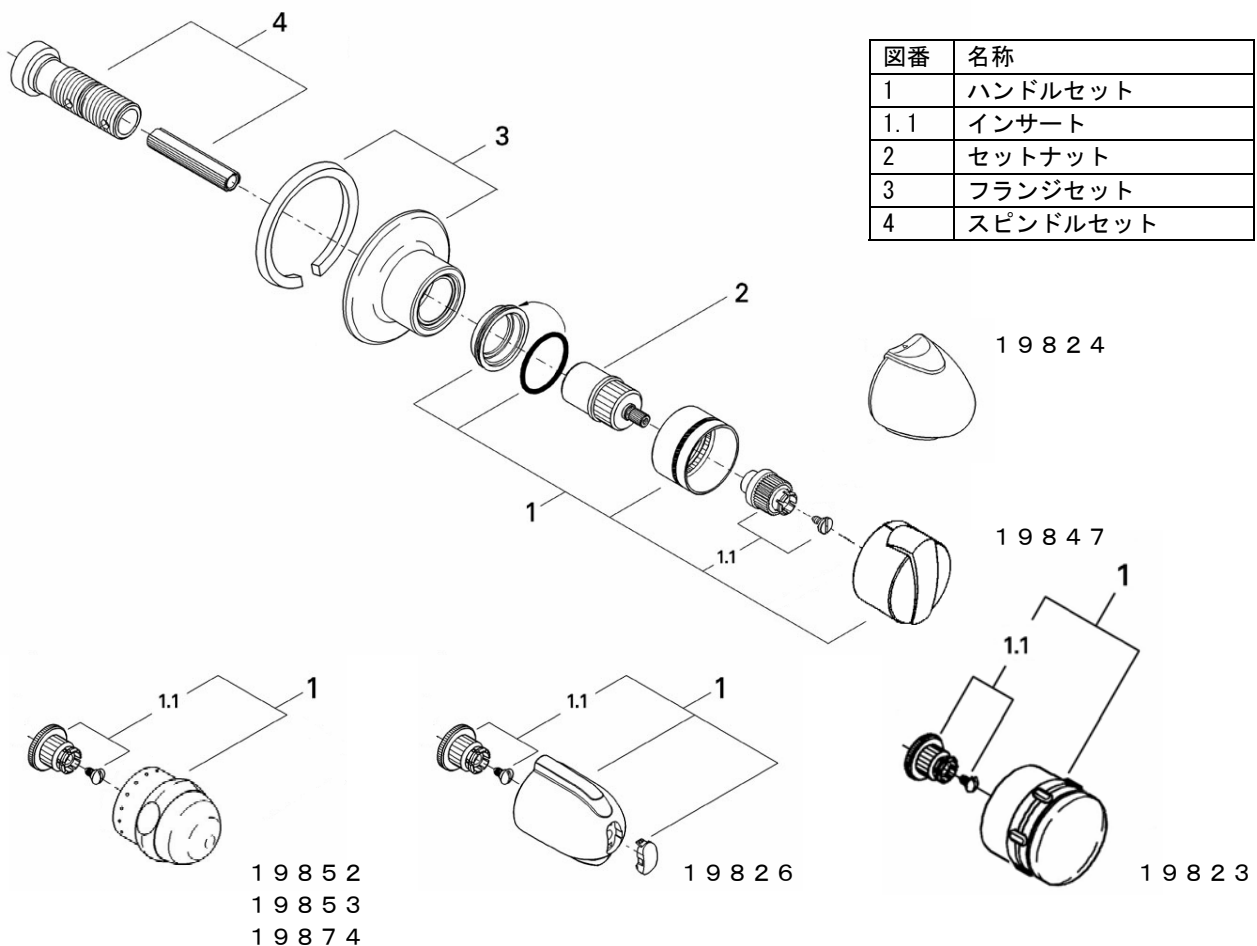
深さ調整タイプ

エクトス	1 9 8 4 7		
タロン	1 9 8 2 4		
キアラ	1 9 8 2 3		
セントーサ	1 9 8 5 2	1 9 8 5 3	1 9 8 7 4
ゲローサーモ 3000	1 9 8 2 6		

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完 成 図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



※壁の穴あけ寸法、壁面の化粧材厚みは表をご覧ください。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C㎡]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

施工前の注意

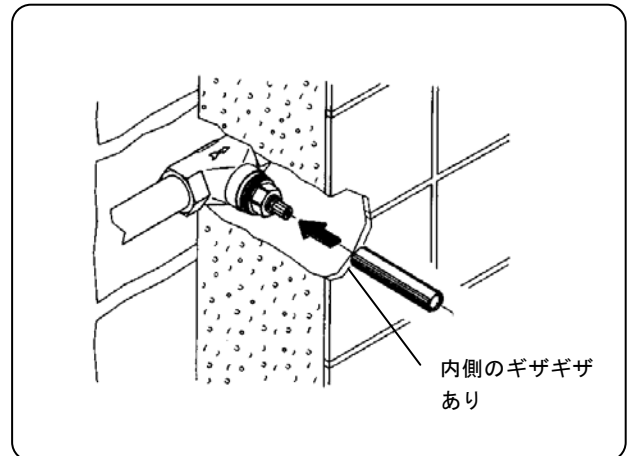
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。
- 取り付けの場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。
- 本体のガタツキ防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

施工手順

1. スピンドルの取り付け (図1参照)

- ①埋込本体ヘッドパーツのギザギザに、スピンドル内側のギザギザを合わせ手で差し込みます。スピンドルには上下があります。内側のギザギザを必ず確認し埋込本体側にしてください。
※スピンドルはプラスチック製ですので、取り扱いには注意してください。

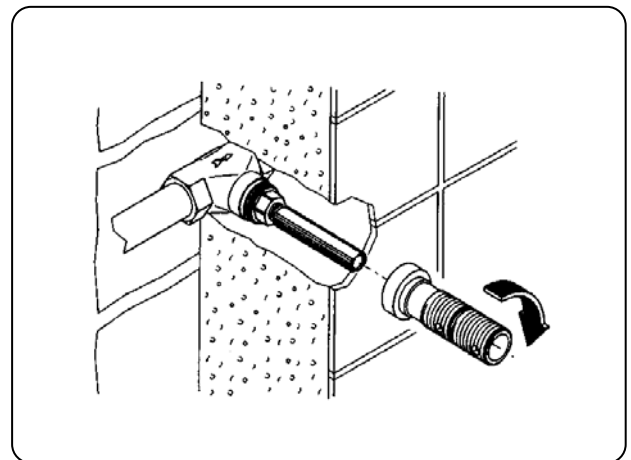
図1



2. ネジガイドの取り付け (図2参照)

- ①埋込本体ヘッドパーツのネジ部に、ネジガイドを手またはプライヤー等で右回しに取り付けます。ネジガイドの穴に棒を入れて回わすと確実に取り付けられます。
※ネジガイドはプラスチック製ですので、取り扱いには注意してください。

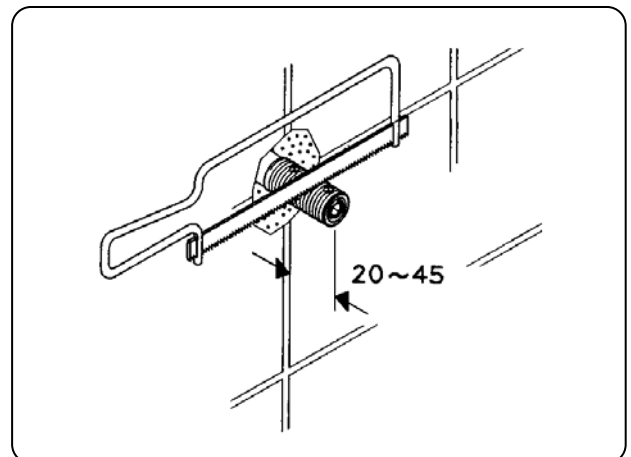
図2



3. ネジガイドの調整 (図3参照)

- ①埋込本体が正規の位置 だと、ネジガイドは仕上げ面より20mmから45mmの範囲になります。
- ②ネジガイドが20mm以下の場合別途エクステンション(45203)をご使用してください。
- ③ネジガイドが45mm以上の場合20mmから45mmの範囲で切断してご使用してください。
- ④ネジガイドは水平、仕上げ面に対して垂直であることを確認してください。
※本体の埋め込みは規定寸法を守ってください。壁面に隙間がいたり、化粧カバーが取り付けられない場合があります。
※確実に固定されていることを確認してください。
※切断面はきれいに仕上げてください。セットナットが入りづらいことがあります。

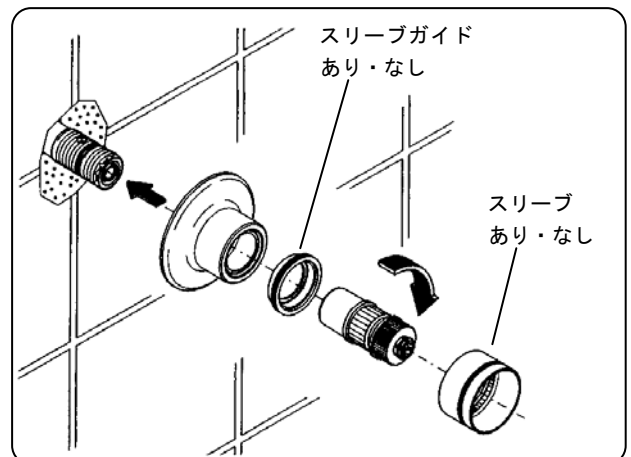
図3



4. フランジの取り付け (図4参照)

- ①ネジガイドにフランジを手でいっぱいまで入れて仮置きします。
- ②ネジガイドにセットナットを手またはプライヤー等で右回しにねじ込み、仕上げ面とセットナットの間でフランジを固定します。
- ③19847、19824はスリーブガイドを使用してください。
- ④19847、19824はスリーブガイドにスリーブを手で差し込んで下さい。
※スリーブの若干のガタつきは構造上発生します。部品の不良ではありませんので、ご使用に関しては何ら問題はありません。

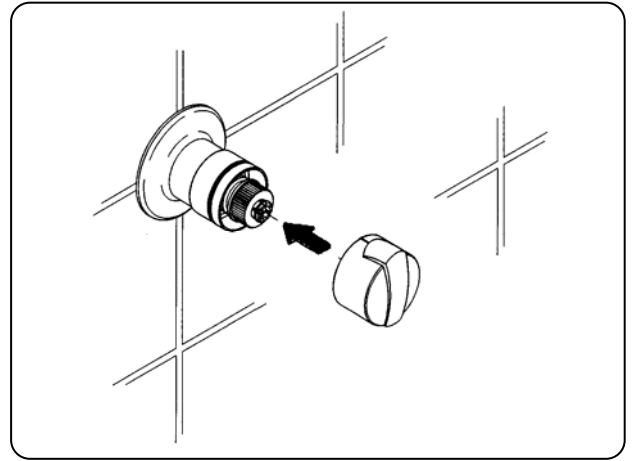
図4



5. ハンドルの取り付け（図5参照）

- ①セットナットのインサートのギザギザにハンドルの内側のギザギザを合わせ手で差し込みます。
 ※インサートはプラスチック製ですので、取り付けの際は爪折れ等に注意してください。

図5



取り付け後の確認

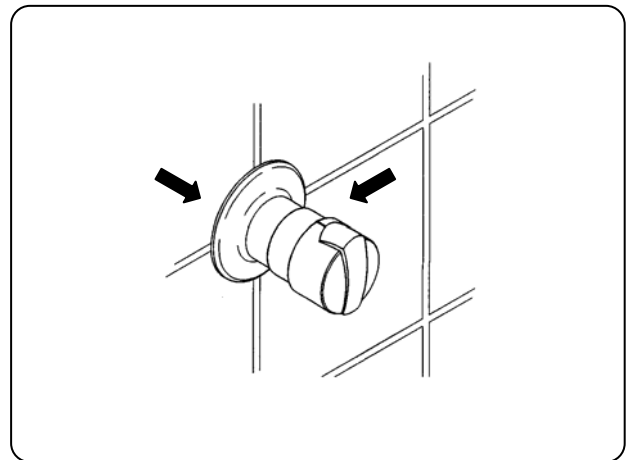
取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ（図6参照）

吐水、止水を数回くりかえした後、図6の箇所を点検します。

- 仕上げ面とフランジの接続部。
- フランジとハンドルの接続部。

図6



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

